

平成30年度
清水中学校区
小・中連携研修会
《まとめ》



鹿児島市立大龍小学校

平成30年度清水中学校区小・中連携研修会実施要項

1 趣 旨 地域における小学校と中学校が9年間で子どもを育てるという視点に立って、相互に連携を図った教育課程編成や学習指導、生徒指導等の在り方についての実践的な研修を行い、児童生徒の「育ち」と「学び」の適時性と連続性を重視した教育活動を展開するとともに、小・中学校相互の指導方法・内容等について視野を広げ、教師の指導力の向上を図る。

2 日 時 平成30年8月1日(水) 13時45分～16時40分
(受付:13時30分～13時45分)

3 場 所 大龍小学校(体育館及び各教室) ※ 運営は当番校である大龍小学校職員が行う。

4 対象者 大龍小学校, 清水小学校, 玉龍中学校, 清水中学校の全教員

5 日 程

時 間	研 修 内 容
13:30～13:45	受 付 (体育館正面玄関)
13:45～14:50 (65分)	分科会 (1) 開会のことば (2) 司会, 記録, 進行, 指導助言者の紹介 (3) 各校職員の紹介(名簿にて) (4) 研究協議 ① 各学校の現状と課題 ② 情報交換並びに話合いの柱に沿っての協議 ③ 指導・助言(15分) (5) 閉会のことば
14:50～15:00	移 動
15:00～16:00 (60分)	生徒指導部会 (小1～小4部会, 小5～中1部会, 中2～3部会) (1) 開会のことば (2) 司会, 記録の紹介 (3) 各校職員の紹介(名簿にて) (4) 研究協議 ① 各学校の現状と課題 ② 意見交換・協議 (5) 閉会のことば
16:00～16:10	移 動
16:10～16:40	全体会 (場所:体育館) (1) 分科会報告 (7分科会×3分) (2) 講評・閉会のあいさつ (大龍小学校長 福田 裕生)

6 分科会について

(1) 分科会編成

分科会	進行・責任者	司会	記録	指導助言者	会場
教育課程(学習指導)部会	大龍小 中崎 真一	清水小 田代 浩之	大龍小 内田 有亮	市教委学校教育課 福 雅 彰	6年1組
外国語活動部会	大龍小 河口 麻希	大龍小 鶴田 和子	清水中 網屋 智子	市教委学校教育課 濱屋 夏美	6年2組
特別支援教育部会	大龍小 志比田美由紀	清水中 境 一 樹	大龍小 西國原和子	市教委学校教育課 山之口和孝	5年1組
保健・給食指導部会	大龍小 宮里 純子	大龍小 上村 和美	清水小 鶴田 薫	市教委保健体育課 松元 徹	5年2組
生徒指導部会 (小1～4)	大龍小 赤木 麻美	清水小 清藤 賢一	大龍小 神前 洋紀	/	4年1組
生徒指導部会 (小5～中1)	大龍小 七村 育乃	大龍小 本野みゆき	清水小 鮫島洋一郎		4年2組
生徒指導部会 (中2～3)	清水中 壹岐真弓子	清水中 田平 篤史	清水中 渡辺 康子		少人数教室 (5・6年)

(2) 研修内容

分科会	研 修 内 容 (例)
教育課程(学習指導)部会	ア 小・中学校の教育課程・学習指導の現状と課題進捗状況 イ 新学習指導要領への対応 ウ 小・中連携の教育課程への位置付け
外国語活動部会	ア 小・中学校の外国語活動(教育)の現状と課題 イ 小学校から中学校への学びの接続をどうするか ウ 2小学校と中学校の系統的な年間指導計画等 エ 小学校並びに中学校の授業参観計画
特別支援教育部会	ア 小・中学校の現状と課題 イ 小・中学校における2学期以降の共通実践事項
保健・給食指導部会	ア 小・中学校の現状と課題 イ 小・中学校における2学期以降の共通実践事項
生徒指導部会	ア 小・中学校の現状と課題(不登校傾向の児童生徒の現状を含む) イ 容儀面、交通ルール・マナー(バス通学生)、情報モラル等 ウ 小・中学校における2学期以降の共通実践事項

(3) 分科会の運営について

- ア 各校では、上記の研修内容に基づいて、それぞれの具体的な実践事項を事前に話し合い、意見を集約しておく。
- イ 協議の柱にそって、各校5分程度で発表を行い、それに対する意見交換を主たる活動とする。
- ウ お互いに抱える悩み、問題等の情報交換を行い、問題の焦点化と課題解決の方向性について共通理解を図る。

(4) 分科会報告

分科会	協議内容
教育課程 (学習指導) 部会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2020年度新学習指導要領完全実施に向けて、2019年度の教育課程編成をどうしていくか…授業時数の確保、学校行事(家庭訪問、運動会実施時期)外国語活動の時数の設定、土曜授業の在り方、プログラミング教育等。 ○ 「特別の教科 道徳」の指導の在り方…指導法の改善(登場人物への時が関与が中心の学習、問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習)等授業づくりを。評価の方法(ワークシート、発言・態度の記録)の工夫等。 ○ 家庭学習の定着…(中)学年×10+20分を設定。達成できていない状況もある。120分を設定。宿題を60分、予習を60分。漢字と英語が宅習の中心。(小)漢字・日記・プリント・宅習帳を組み合わせで行っているが、固定化しつつある。
外国語活動 部会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現状…(小)歌やチャンツを活用。楽しんで積極的な姿が見られる。AEAとは事前にメール等でスケジュールを確認。来校の際に次回の打合せをしている。(中)小学校での活動があるのでスムーズ。高校の先生にも入ってもらっている。M&M(リスニングのシャワー)、Word Cupでモチベーションを上げている。1年生で苦手と感じている生徒もいる。 ○ 課題…(小)時数確保、教材づくり(カラーコピーが望ましいが)、クラスルームイングリッシュの言葉の統一、イングリッシュルームの活用の仕方、職員の英語力の向上等。(中)習熟度の差(班活動を通して教え合いができるクラスに)、家庭学習の在り方。 ○ 協議…へボン式ローマ字の定着(パソコン入力まで含め)を確実にやりたい。中学校では、文字に苦労している。スピーキング・リスニングはできている。文字はとにかくふれる機会を増やす。読んでみる、書いてみるのが大切。言葉に出して書くことで統合される。
特別支援教育 部会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 通常学級に在籍していて支援が必要な児童・生徒への対応について…支援員との情報交換(書くことが苦手→マス目を大きく、自己肯定感が低い子→褒められる機会を、指示が通らない子→1対1で、子ども同士のコミュニケーションが通らない→間に教師等が入って事実を伝える等)を大事に。保護者との連携、職員間での連携も 図る。関係機関(居住地校交流、巡回相談)との連携も大事に。 ○ 進路指導…療育手帳がある・ないで変わってくる。学力が伴うかどうかでも判断される。通常学級における支援の必要な生徒は、中学校での入級は難しい。小学校の早い段階で対応をしていく必要がある。小→中、中→高で隔たりがあるのも事実。どこに行っても、場所・人が変わっても、同じような支援が受けられるようにしていきたい。しっかりと引き継ぎ(小→中→高)を行う。
保健・給食指導 部会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 偏食への指導について…(小)最初につききって、その後個々の食べきれる量に調整。偏食の子には最初で量を調整している。その子なりの目標をもたせて食べさせたい。家庭との連携も必要。バランスのよい食事について担任や栄養教諭から根拠があって給食は作られているのだときちんと指導することが大事。

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 性教育（LGBT）について…(小)4年生性教育図鑑の中で、異性への興味についてからめ、異性とは限らず同性への興味がある人もいることにふれる。自分の体の変化について考えたり、聞きたいことがあったりしたら「おいでね」と声かけする。第二次性徴の学習に関連付けてふれる。図書室に関連図書を置いている。子どもたちとの信頼関係を先生方がつくっていくことがまず大事。DVDを学校保健委員会等で保護者にも見せ意識してもらうことも大事。 ○ むし歯治療について…歯の治療率(小)平均68.6%，(中)平均48.4%。小学校のとき保護者にどう働きかけたかを中学校にも引き継ぐとよいのでは。
<p>生徒指導 (小1～小4) 部会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 帰宅時刻の共通理解…4～8月は18:00，9～3月は17:00に合わせる。 ○ あいさつ・廊下歩行…語先後礼がだいぶできるようになってきた。廊下歩行が正しく守れるような取組を掲示，2列右側通行の習慣化，命を守る練習となる。 ○ バス通学児童の交通ルール・マナーがどうか。両校でバス通学の児童を集めて指導する場があってもいいのでは。玉龍中は交通局の方に毎年4月に指導してもらっている。 ○ 忘れ物が多く，中学校でも続いている。メモする習慣付を。手をかけすぎず，自分でやる習慣を。 ○ スマホ・携帯電話の使い方について，保護者へも啓発していく必要あり。中学校へのつなぎ方，学校間の連携も必要である。
<p>生徒指導 (小5～中1) 部会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ スマホ・ネットの利用と現状…(小)自分用のスマホを持っている，または，親のスマホを自由に使える環境にある。YouTubeにアップしている児童もいる。年齢制限のあるゲームが流行っている。⇒職員研修，9月に出前授業を実施。PTAでも資料をもとに保護者へ説明。(中)多くの生徒が遊んでいる状況。「ゲーム傷害」，生徒同士知らない人との関わりが見えないところで増えている状況がある。携帯は原則禁止だが，持ってきている生徒も多い。夜間のゲームのし過ぎで寝ている生徒もいる。学力不振につながる。⇒学校保健委員会等でネットポリスの話を実際に聞くの大変効果的。K-netポータルの情報モラルの動画も有効。保護者の知識も不足しているので，お互いに話す機会を設けることが必要である。 ○ 不登校の実態と対策…(中)フレンドシップに参加し，目的意識をもったことにより，改善されてきた。(小)友達づくりの推進。いろいろな子と協力したり，関わったりする活動を多く取り入れる。(特支)同じ進学先の子どもと関わりをもつような指導を行う。
<p>生徒指導 (中2～中3) 部会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 情報端末機器について…メディア・ゲームなどの取り扱いとして，アフターナイン運動（21時以降は使わない）に取り組んでいる。携帯電話の所持・使用は，原則認めていないが，徹底は難しい。携帯電話が原因のトラブルとして，1年時にあったが，今は表面化していない。『モンスター』『荒野行動』というソフトは言葉遣いに影響しているようだ。⇒保護者に向けての講演（6年入学説明会，3年時），PTAの資料で啓発等を行ってきた。 ○ 不登校生徒について…課題を提出できないで不登校になる生徒もいる。⇒量を減らしてやった分をほめる等して対応。担任，保健室で対応をするが，保健室ではなく同じフロアの部屋で進路を意識した対応もとっている。

(5) 共通実践項目

分科会	共通実践項目
教育課程 (学習指導) 部会	① 「特別な教科 道徳」の評価等について、各校で情報交換をしていく。 ② 9年間の連続性を重視した子どもたちの学びをサポートするために、各校での取組の情報共有を図っていく。
外国語活動 部会	① 授業においてどのような言葉を使うのかすり合わせをしていく。(クラスルームイングリッシュ) ② 小中の授業参観計画を立てて、お互いに授業を見せ合う機会を今後取り入れていく。
特別支援教育 部会	① 情報交換を行う。 ② みんなで助け合える雰囲気づくり、学級づくりを各学校で進めていく。
保健・給食指導 部会	① 熱中症対策で水筒持参を。⇒ 2学期はどの学校も水筒持参という現状。 ② 給食時間の準備等、時間を有効に、マナーを守らせて指導していく。
生徒指導 (小1～小4) 部会	① 語先後礼を実践する。立ち止まって礼を確実に。 ② 廊下歩行「はさみ」を実践する。「はしらない・さわがない・みぎがわを」
生徒指導 (小5～中1) 部会	① 情報モラル等も含め、保護者への啓発を行っていく。 ② 学校間の情報交換。連携を図っていく。
生徒指導 (中2～中3) 部会	① 交通機関(バス)の使い方。生徒会を通しての働きかけ、マナーの向上を目指す。 ② お互いに情報交換をしていく。